



1位・シナマンサク



2位・ウメ、オオユキノハナなど



3位・トピックス

セツブンソウ、フクジュカイ(福寿海)

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

みごろの植物

第1058号 2026年2月19日 次号予定2/28



カラー版はこちらから

だんだん春らしくなってきました！



今週のベスト3！

青い札が目印です

1位 シナマンサク 黄色いリボンのような花が開き、日の光が当たると黄金色に輝いて見えます。香りをかいでみてください。

2位 春の小路 ウメが清楚な花を咲かせています。オオユキノハナやスイセン、ヘレボルスが地面に彩りを添えています。

3位 セツブンソウ[NT] 春の訪れを感じる花が静かに咲いています。近くではフクジュカイ(福寿海)も元気に咲いています。



じゅもーく先生トピックス

3位 “福寿草”と節分草

林床に十分光が入るこの時期に葉を開いて花を咲かせ、初夏までの間に養分を蓄えたのち、翌年の春まで姿を消してしまう植物をスプリング・エフェメラルと呼びます。地上部が短命であるようすから、「春のはかない命」と訳されます。これらの植物によって早春の林床は大変にぎやかになります。スプリング・エフェメラルのひとつ、“福寿草”が咲き始めました。その近くではセツブンソウが今にも落ち葉の下からつぼみを広げて姿をあらわそうとしています。*園内にあるのはフクジュソウとミチノクフクジュソウの雑種起源のフクジュカイ(福寿海)という園芸品種で種子ができません。栽培が容易で“福寿草”として栽培されているものの大部分はこの品種のようです

国立科学博物館 名誉研究員 松本定

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。筑波実験植物園では、科の表示を「新エングレー体系」から「APG体系」へ変更しています。筑波実験植物園ホームページ <https://www.tbg.kahaku.go.jp/>

① ウメの園芸品種 ウメ各種が咲き誇っています。正門そばではカワヅザクラが咲いています。

② モロコシソウ 種がこぼれたあとの裂けた実が花のように見えます。

③ ハクモクレン フカフカのつぼみがだいがふくらみ、存在感を増しています。

④ ミケリア・プラティペタラ 芽鱗が外れて白い花卉が見えてきました。

⑤ リュウキュウアセビ[CR] 長い間赤いつぼみのままでしたが、もう間もなく開花しそうです。

⑥ イヌコリヤナギ ふわふわした花芽が身を寄せ合っているようです。

⑦ モクレイシ つぼみを確認してから4か月あまり。小さな花が咲きました。

⑧ ハチジョウキブシ 小さなつぼみが並んでいます。

⑨ コゴメヤナギ 大空を背景に伸びやかに枝を広げています。芽吹きが楽しみです。

⑩ マンサク つぼみがだいがふくらんできました。春はもうすぐそこです。

⑪ ミヤマウグイスカグラ 冬枯れの風景の中に紅色の可憐な花が咲き始めました。

⑫ アブラチャン 小さなボクシンググローブを振り上げたようにも見える、かわいい花芽がついています。

3/20(金・祝)~3/29(日) 会期中無休

- A サバナ温室
- B 熱帯雨林温室
- C 水生植物温室
- D 熱帯資源植物温室

★ 花
✦ 果実・種子
✧ その他
◇ ぬり絵の植物
👷 工事中

お知らせ
プロムナードは1/31から通行できるようになりました。周辺では引き続き作業が発生しますが、何とぞご了承ください。

W 世界の生態区
H 生命を支える多様性区

配布中のぬりえ
3位 セツブンソウ
題材の見ごろ時期がずれる場合や題材変更、配布休止の場合があります。なくなり次第配布終了となります。

環境省レッドリストカテゴリー
[CR] 絶滅危惧IA類
[EN] 絶滅危惧IB類
[VU] 絶滅危惧II類
[NT] 準絶滅危惧

以下ご遠慮ください。植物園の植物はすべて研究対象です。

- 🚫 犬の散歩 (自給犬を除く)
- 🚫 動物の採集 (落ち葉・実などを含む)
- 🚫 園路・ロープ・柵から中への立ち入り
- 🚫 道具・採集道具の持ち込み
- 🚫 喫煙、飲酒



1位・アガベ・アッテヌアタ



2位・クサントロエア・グラウカ



3位・アロエ・エクスケルサ



トピックス・ツルタコノキ

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

温室のみごろ植物

第1058号 2026年2月19日 次号予定3/5

今週のベスト3!

黄色い札が目印です

1位 アガベ・アッテヌアタ 長いおしべが印象的！下の方から美しい花が咲き始めました。

2位 クサントロエア・グラウカ 噴水のような細い葉の中心から伸びた棒状の花穂がエネルギーギッシュです。

3位 アロエ・エクスケルサ 躍るような肉厚の葉の間から、鮮やかなオレンジ色のつぼみが目立っています。



じゅもーく先生トピックス

⑥ ツルタコノキ

Freycinetia multiflora タコノキ科

進化は万能で何でも出来そうに思えますが、実際には一度失ってしまった器官をそっくり元に戻す進化は起きないことが分かっています(ドロの法則)。ツルタコノキの花を見てみましょう。鮮やかな薄紅色で、きれいに3枚ずつ広がるまるで花卉のような部分は、葉が変化した苞です。実際には、大昔にタコノキの仲間は花卉を(がくも含めて)完全に失っているのです。花粉を運んでくれるミツスイなどの鳥を呼び寄せるため、「派手な目印」が必要になったので花卉の代わりに進化したものと考えられます。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 奥山雄大

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。



みごろの植物

カラー版はこちらから



- ① コルキウム・カペンセ・キリオラトゥム 横並びで個性的な花が咲いています。
- ② レモン ‘ポンテローザ’ 変わらず大きな果実がいっぱいになっています。
- ③ アカバナナ 赤紫色の花芽が出ています。刻々と姿を変えるのでぜひごらんください。
- ④ ナンヨウリュウビンタイ 大きなゼンマイ状の新しい芽が次々と出てきています。
- ⑤ イチジクの仲間 多様なイチジクの仲間を見ることができます。温室スタッフ手書きの解説も楽しいです。
- ⑥ ツルタコノキ 朱色の苞の形が面白いです。
- ⑦ ツノヤブコウジ 白い可愛らしい花を咲かせるマングローブの植物が水生植物温室で見られます。